心の平和と生きる

福井県・若狭美浜

ここには人間を育てる力がある
人生の先輩に学ぶ旅

福井県若狭美浜は古来、京の都に続く道としての役割を担ってきました。京都から約2時間の美浜には日本の故郷の風景があります。山には木々が生い茂り、清らかな川や湖には魚棲み、町の名の通り日本海に面した美しい浜が続きます。人々は自然の恵みをいただき、それを生業としてきました。「若狭美浜はあとふる体験」は、このような資源を活かし、「漁業」「農林業」「自然・アウトドア」「味覚」「工芸・歴史文化」とバリエーションに富んだプログラムを整えています。

現代では、人とどう接し、どのように人間関係を構築すべきか分からない人が増えているようです。初めて訪れる土地で初めて会う人とコミュニケーションを図るには相手を気遣い、歩み寄る努力が必要です。学校という日常を離れ、初めて行う体験を通して、新たな自分を発見、またはそれまで気付くことがなかった仲間の長所を発見する生徒がいます。

若狭美浜はあとふる体験では、体験することが目的ではなく、その体験を通した「人」と「人」との交流に価値があると考えており、その交流から生まれる「心の高まり」を大事にしています。

お薦め体験プログラム

民泊体験

ありのままの生活をとおしてもらうことで、「田舎の温かさや人とのつながり」を学ぶのです。受け入れ家庭も、たった1泊とはいえ、生徒たちの話を聞くうちに親しみを覚え、別れの際には「またおいで」と声をかけます。

修学旅行が終わり、日常に戻った生徒たちから、卒業後の進路について手紙が届くことがあります。受け入れ家庭では我が子のように彼らの成長や進学、就職を喜びます。偶然結ばれた数日間の縁がそれきりにならず、絆がつながっていくところに美浜の民泊体験の魅力があります。

ボート体験

若狭美浜はあとふる体験特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。漕ぎ手4人とコックス（舵とり）1人が艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。それぞれが自分の役割を理解し、その役割を全うしようと努めることで、信頼関係が生まれ、体験を終えた後には仲間と一つになった喜びを感じられること間違いありません。

大敷網体験・食体験

大敷網は、若狭湾の豊かな海に敷き広げておいたスケールの大きな網を、漁師が船で取り囲み、引き上げていく若狭地方の伝統漁法です。漁師と一緒に網を巻き上げることで、漁業の大変さや喜びを学ぶことができるキャリア体験の機会となります。

食育体験では、先刻までピチピチと飛び跳ねていた活きのよい魚を自分の手でさばくことで、まさにその命を自分がいただいているという実感が生まれます。

若狭美浜はあとふる体験では、初めて出会う人と交流を深め、学校生活をともにする仲間と同じ達成感を味わうことができます。一生に1度の修学旅行。「ほんもの」の体験交流を通して、心の平和、人間関係の構築能力、豊かな人間性を育んでいただきたいと願っています。

心のふれあう民泊体験

信頼関係が生まれるボート体験

大敷網を体験

農作業の体験

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
NPO法人 はあとふる美浜ネットワーク

〒919-1122 福井県三方郡美浜町松原35-16-18
TEL 0770-32-2222 FAX 0770-32-2239
E-mail:wakasamihama@kl.mmnet-ai.ne.jp
URL http://www.heartful-mihama.com/

滋賀県・近江日野

三方よし！近江日野田舎体験
古都の歴史文化学習と人との交流の両立

近江日野田舎体験で心温まる、心高まる交流を

三方よし！近江日野田舎体験が教育旅行を受け入れて6年目となります。この間、約1万人の児童、生徒たちが近江日野を訪れ、地域の人々や自然、食との関わりを学び、心豊かに成長し、巣立ってくれました。

欲しいものは直ぐに手に入る時代となり、自然の恵みや野菜、米などの農作物だけでなく、食や食に関わる人々に対する感謝の気持ちも薄れつつあります。支えあい、助けられていることに気付かず、人に対する感謝の気持ちさえも忘れてしまう、そんな時代の中で生徒は育っているのではないでしょうか。

教育旅行の引率の先生方は受け入れ家庭で過ごす生徒をみて、異口同音に「あんなに豊かな表情は見たことがない」「学校であんなに穏やかな表情はしない」と驚きの声を上げられます。

忘れてはならないもの、なくしてはならないものが、農山漁村には今なお、深く息づいています。地域の人々は、農林漁業や自然と向き合いながら生業を営み、助けあい、支えあいながら地域を守り続けています。そこには、自然や農産物、支え励ましてくれる人たちへの感謝の気持ちがあります。

緩やかな時間の流れの中で、受け入れ家庭と交わす何気ない会話や互いの気遣いを通して、豊かな心、優しい気持ちが生徒の心の中に芽吹き、自然と穏やかな表情が生まれるのだと私たちは思っています。

近江日野の農村生活体験（民泊）は、先生方の本部宿からわずか15分圏内に150軒の受け入れ家庭を有し、収容人数は600人になります。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどをそれぞれの家庭で体験します。体験することは自体が目的ではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと、近江日野田舎体験は考えています。

古都の歴史文化学習と「三方よし」の精神で取り組む体験交流の両立プラン

日野町は、京都、奈良、名古屋から約1時間半でお越しいただけます。名神高速、新名神高速主要インターからも約30分と、関西圏、中部圏との交通アクセスは大変良好です。

また、日野町は「売り手よし　買い手よし　世間よし」の三方よしの精神で全国に名を馳せた近江日野商人発祥の地です。

近江日野商人の三方よしの教えに倣った生徒個々の生きる力を育む近江日野田舎体験と、このような立地の利便性から京都、奈良での歴史文化学習との両立プランは、数多くの学校にご支持いただいています。

近江日野に住む者がこの地に生きる理由、誇りを語り、伝え、訪れる側、迎える側それぞれの人々が、自分と自分を取り巻く人々を認め、自分が存在することの意義、価値に気付き、明日の生きる力を得ることができる、人と心が高まる旅「三方よし！近江日野田舎体験」へのお越しをお待ちしています。

感動の民泊で別れに思わず涙する

本物のコンバインで麦刈り体験

農家の指導でしいたけの菌打ち

民泊家庭で伝統の料理づくり

三方よし！近江日野田舎体験推進協議会
（日野町商工観光課内）
担当：中森雅之・西河佳子・福本修一・寺本昌弘

〒529-1698 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562 FAX 0748-52-2043
E-mail kankou@town.shiga-hino.lg.jp
inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp/

奈良県・飛鳥

それは飛鳥だから意味がある
日本人は元飛鳥人？ほんもの悠久体感！

「飛鳥」は国が始まったところ。だからこそ一生に一度はここを訪れ、その目でしっかりと「国のはじまり」の場所を見て、おいしい空気を吸って、古代からいるであろう虫や鳥の囀りに耳を傾け、ここで採れた新鮮な作物を食していただきたいと願います。

また、ここは物事が生まれ、築かれ、始まった場所でもあります。思いやる心が生まれ、信頼を築き、新しい自分が始まる。それはまさに飛鳥だから意味があると考えます。離村時には生徒の皆さんがどこか成長されているような、そんな意義のある修学旅行となりますよう心を込めてお手伝いさせていただきます。

民家ステイ（ホームステイ）体験

私たちの飛鳥地域（明日香村、高取町、橿原市、桜井市）での民家ステイ事業も今年で4年目を迎えました。体験していただきたいのは、古代の遺跡が点在するこの地で人々が紡いできたほんものの暮らし。受け入れ家庭の皆さんとステイ中の生徒たちが農作業、史跡見学、趣味、食事作り、家業の手伝いなどを通して、深く交流し、共に学び高まり合うことを目的としています。

「大人ってまんざらでもねぇなぁ」「ここは近所の人たちみんな仲がいい」「野菜おいしい」「おじさん怖かったけど、また会いたい」「ちかちゃん（受け入れ家庭のお母さん）大好き」などと、滞在時間が長い分だけ交流の深さが増して、帰る頃には涙する生徒も少なくありません。

民家ステイは、1泊あるいは2泊といった短い時間に、初めて出会った生徒と住民が共通の目的を持って共通の体験をする場です。普段の生活では経験し得ない「心を遣う」交流が、より教育効果を引き出します。

現在登録家庭は150軒を超え、300人の受け入れが可能となりました。

あすか歴史探検隊

奈良県立大学地域創造学部生等とともに、謎につつまれたロマンあふれる飛鳥の歴史や文化を楽しく学びます。サイクリングをしながら、または歩いて飛鳥の史跡を巡る歴史ガイドツアーのほか、奈良県立万葉文化館内でテーマごとに分かれてのグループワークをご用意しています。

自己紹介に始まり、クイズ形式で歴史を学び、意見を交換しながら楽しくディスカッション。最後のまとめ発表まで、活発な意見が飛び交います。

飛鳥の歴史的風土を体感しながら、創造力や発言力、協調性が育まれることを目指します。

飛鳥考古学体験

飛鳥地域の一つ、橿原市に今年4月にオープンした「歴史に憩う橿原市博物館」では市内の遺跡から出土した土器を修復する体験ができます。

出土品に囲まれた独特の雰囲気の中、普段は展示ケース内や教科書でしか見ることのできない古代の土器に実際に触れての修復。本物の迫力を五感で存分に感じて頂けるとともに、この地域に存在した古代の技術、先人の知恵や工夫を学ぶことができます。

心通う交流の後で思いもひとしお一離村式

古代の息吹を感じながら史跡巡り

あすか歴史探検隊

出土品の修復作業を体験

食事作り

飛鳥ニューツーリズム協議会

〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5
明日香村商工会館内
TEL 0744-54-1525 0744-54-1526
E-mail:info@asukacom.jp
URL http://web1.kcn.jp/asuka　Facebook「飛鳥ニューツーリズム協議会」

滋賀県・甲賀市

忍者に学ぶ「生きる」ことの大切さ
忍者の里こうかで田舎体験

甲賀（こうか）市は、滋賀県南東部に位置し、甲賀忍者ゆかりの地として知られています。

忍者は、任務を果たすために潜入したとき怪しまれないよう、人の気持ちを鋭く観察し、見抜く能力があり、さらに日頃から情報を収集し、合理的に物事を考え、いかに戦わずして勝つか、すなわち「生きる」ということを最重要に考えました。その戦わない術が忍術であるとも言えるでしょう。

そんな忍者を育んだ甲賀での体験では、相手を思いやり分かりあえる力＝「生きる力」を養い、みんなで力を合わせてみんなが幸せな生活を送ることの大切さを感じていただけるはずです。

忍者が全てでない甲賀

甲賀市には、甲賀忍者ゆかりの甲賀・甲南地域のほかにも、タヌキの置物で有名な日本六古窯の一つ信楽焼の信楽地域、東海道の宿場町だった水口・土山地域があります。また、朝宮茶、土山茶は、滋賀県を代表する「近江の茶」の名産地でもあります。

市内には新名神高速道路のインターチェンジが三つあり、京阪神や中京方面からのアクセスも容易です。京都駅からはバスでもJR（直通列車あり）でも1時間程度で到着できるので、夕方まで京都市内で班別行動をしてからの入村も可能です。名古屋からのバスでも1時間あまりで到着します。

お薦めプログラム

農村生活体験（民泊体験）

民泊家庭75軒、1軒4人を基本に受け入れ、1日最大300人まで受け入れ可能。生徒たちはお客さまとしてではなく、家族の一員として迎えられ、農村のありのままの暮らしを体験します。体験しながらいろいろな話で打ち解け、一緒に笑い、もに、植物や動物の命をいただいて生きていることを体感し、食事の大切さを学ぶ場ともなります。

家業おまかせプラン

民泊（受け入れ）家庭の家業、生業、農村の営みをそのまま体験するプランです。

そのため体験内容は、農作物の収穫、田植え、手もみ茶作り、畑の耕うん作業、森林間伐、薪割り、宿場町の案内、甲賀忍者の話、信楽焼、おはぎ作りなどさまざまで、受け入れ家庭軒数分の体験があります。体験はさまざまでも、どの家庭にもあるもの、それは心からの交流。

忍者の里こうかで、相手を思いやり、みんなで力を合わせて幸せな生活を送ることの大切さを学んでほしいと願っています。

たまには叱られ、心と心がふれあう交流がそこにあります。

食事は、食材を採りにいくことから始め、共同で調理し、一緒に食べます。楽しい交流の場であるとともに、滞在時間が長い分だけ交流の深さが増して、帰る頃には涙する生徒も少なくありません。

民家ステイは、1泊あるいは2泊といった短い時間に、初めて出会った生徒と住民が共通の目的を持って共通の体験をする場です。普段の生活では経験し得ない「心を遣う」交流が、より教育効果を引き出します。

現在登録家庭は150軒を超え、300人の受け入れが可能となりました。

あすか歴史探検隊

奈良県立大学地域創造学部生等とともに、謎につつまれたロマンあふれる飛鳥の歴史や文化を楽しく学びます。サイクリングをしながら、または歩いて飛鳥の史跡を巡る歴史ガイドツアーのほか、奈良県立万葉文化館内でテーマごとに分かれてのグループワークをご用意しています。

自己紹介に始まり、クイズ形式で歴史を学び、意見を交換しながら楽しくディスカッション。最後のまとめ発表まで、活発な意見が飛び交います。

飛鳥の歴史的風土を体感しながら、創造力や発言力、協調性が育まれることを目指します。

飛鳥考古学体験

飛鳥地域の一つ、橿原市に今年4月にオープンした「歴史に憩う橿原市博物館」では市内の遺跡から出土した土器を修復する体験ができます。

出土品に囲まれた独特の雰囲気の中、普段は展示ケース内や教科書でしか見ることのできない古代の土器に実際に触れての修復。本物の迫力を五感で存分に感じて頂けるとともに、この地域に存在した古代の技術、先人の知恵や工夫を学ぶことができます。

忍者のトリックアート（ＪＲ甲賀駅）

民泊先で夕食の巻き寿司作り

かんぴょう干し体験

信楽焼の作陶体験

甲賀市都市農村交流推進協議会

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地
甲賀市役所 産業経済部 農業振興課内
TEL 0748-65-0711 FAX 0748-63-4592
E-mail:ninjanosato@gmail.com